

# せせらぎ



ようこそ日本のモクウへ  
土合へ

2017年 6月

No.335



滋賀県勤労者山岳連盟

湖南岳友会

## 目次

1. 表紙とメッセージ	P.1
2. 私のひとりごと	P.2
3. 6月例会山行案内 【清掃登山 高室山周廻】	P.3
4. 6月初級登山教室(実践)【前泊いこいの森 大長山&赤兎山】	P.4
5. 6月例会山行案内 【金糞岳】	P.5
6. 4月例会山行報告 【赤坂山】	P.6
7. 5月例会山行報告 【京都北山・棧敷ヶ岳】	P.8
8. 5月個人山行報告 【塩見岳】	P.10
9. 4月山行記録	P.13

## 今後の予定

1. 5月21日(日) 例会山行【明王院～御殿山】
2. 5月27日(土)18:00～ 初級登山教室(机上)【はじめようテント泊 大長山登山】
3. 5月27日(土)19:00～ 定例会議
4. 6月4日(日) 例会山行【清掃登山 高室山周廻】
5. 6月10日(土)～11日(日)初級登山教室(実践)【大長山&赤兎山】
6. 6月18日(日) 金糞岳
7. 6月24日(土) 定例会議
8. 7月2日(日) 例会山行【湖北の山 山本山～賤ヶ岳】
9. 7月15日(土)～17日(月)例会山行【針ノ木岳～爺ヶ岳】



## 表紙からのメッセージ

JR 東日本上越線・土合駅、ホームは下ること 462 段。

登山愛好家が谷川岳に登るのに利用しています。

ハードルが高くても登りたい雪山だから

正しいピッケル、アイゼンの使用方法を学び

憧れの山頂に立ちたいと思う。

2017 年 5/6 CSS 雪山基礎講座修了山行より



## 私のひとりごと

『湖南岳友会』1978年9月に創立。もうすぐ40th。

全くの偶然ですが、私の誕生と同じ西暦、同じ月度。

同じく1978年9月に生まれた有名人は澤穂希、なかやまきんに君 etc.

おギャーと言ったとき、若かりし諸先輩方は『湖南岳友会』を立ち上げられた。改めてこれまで会を運営して来られた努力に感謝と畏敬の念を抱きます。

2012年6月に入会し、早5年。テント泊、雪山、沢登り、岩登り、道端で寝ること……。見よう見まねで様々なことを教わり、単独では知ることのない世界を経験することができました。飽き性でこれまで何をやっても長続きせず、趣味と呼べるものがなかった自分。特別な能力がなくても、仕事以外に継続して打ち込める山登り。これからもまだ見ぬ世界を探し、夢を目標に一步一步進んで行きたい。今年は北に出掛けよう。

高い志を立てれば人は変わる。志は青春時代だけのものではない。

中年よ大志を抱け！ by 三浦雄一郎



# 第45回 清掃登山

第45回清掃登山を下記要領で実施しますので、多数ご参加ください。

**会場**： 鈴鹿山系 高室山818<sup>米</sup> 2.5万分の1地形図「高宮」「彦根東部」  
高室山 山頂からは360°の大展望で、鈴鹿山系のほぼ全域が視野に収まる。  
山頂ではブタ汁を用意しますので、鈴鹿の山並を眺めながら昼食を楽しんで下さい。

**実施日**： 2017年6月4日(日) 小雨決行 雨天・荒天が予想される場合は中止  
**参加費**： 300円{内訳:県連納入分200円(多賀町役場⇄登山口の交通費含む)+ブタ汁代  
**集合場所&時間**:多賀町役場前の駐車場 8:00

## 登山コース

多賀町役場⇒佐目登山口(佐目自然公園)→三叉路→林道→高室山→林道→三叉路→  
南後谷→佐目→佐目登山口→多賀町役場  
(登山コースは当日の天候・登山道の様子などにこの条件で変更する場合があります)

**共同装備**： コンロ2、ガス2、コッヘル1式、ツェルト、救急セット、無線機、補助ザイル、GPS

**個人装備**： 雨具、防寒具、手袋、帽子、ヘッドランプ、地図、磁石、昼食、行動食、非常食  
テルモス、お茶(多め) お湯(ブタ汁用)

**申込&締め切り**： 6月1日まで

## 交通手段：マイカー

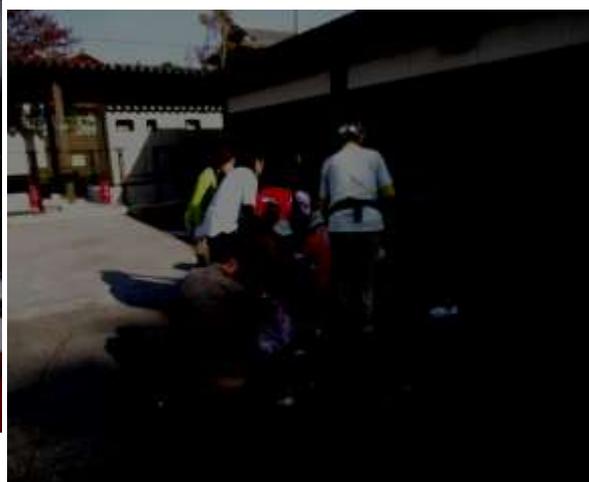
集合・解散が多賀町役場なので、多賀町役場⇄登山口の交通費は別途県連に請求する

マイカーは便宜上下記のように運用し、多賀町役場までの費用は各号車で清算する  
野洲駅南口6:30→竜王コンビニ7:00→湖東三山 IC→多賀町役場

ブタ汁仕込み中



ごみの分別



登山教室の実践として初心者を対象に、前日に東山いこいの森でテント泊し小原峠から大長山と赤兎山を登山し時間が許せば温泉に入浴し帰りたいたと考えてます。ベテランの方の参加も大歓迎です。いこいの森のテントサイトは有料で管理されたテント場です。自炊棟、トイレも完備されていて夜間の照明もあり初心者には安心なテント場です。

第1日目

6月10日(土)

野洲駅 13:30→竜王コンビニ 14:00→福井北 IC→東山いこいの森キャンプサイト

第2日目(日)

6月11日(日)

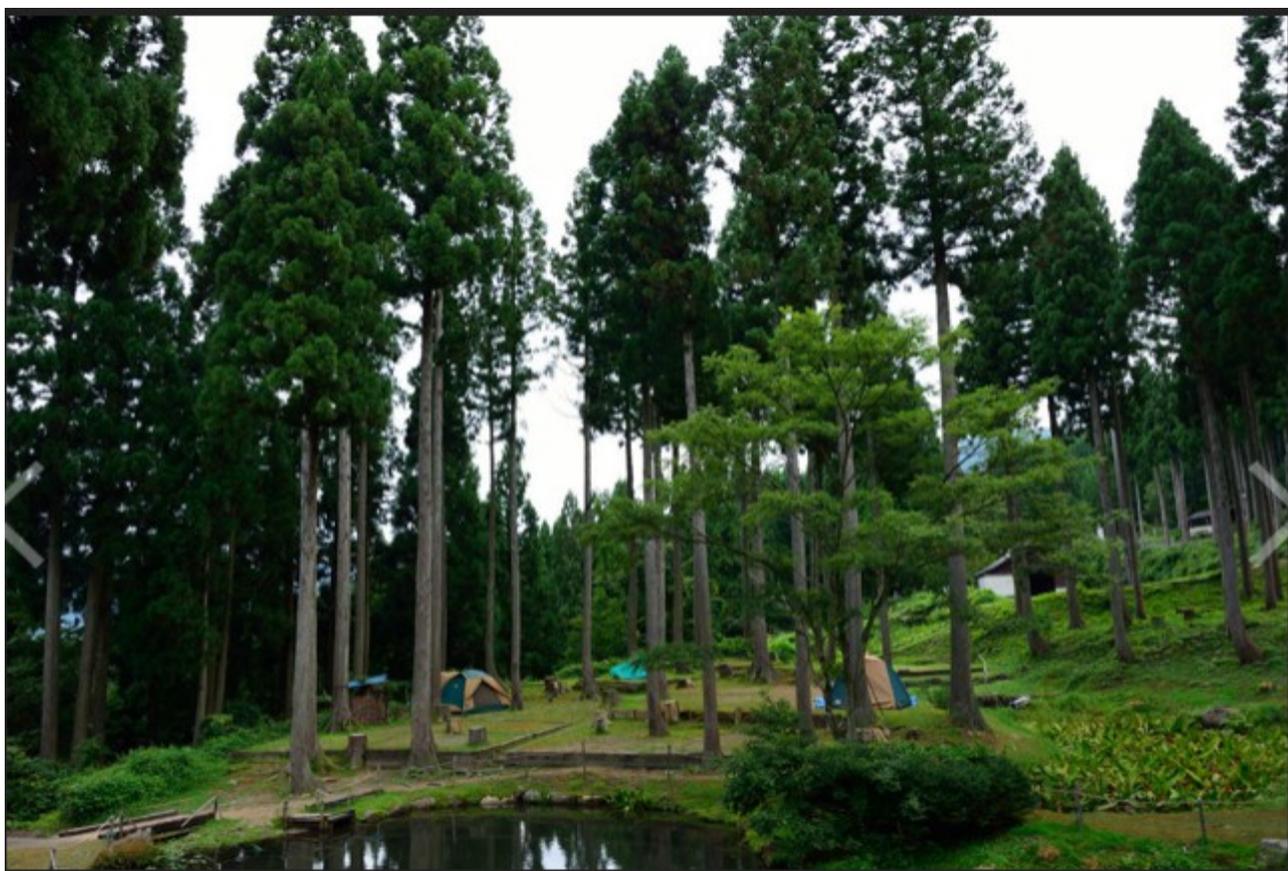
東山いこいの森キャンプサイト 7:00 頃 車で出発→小原→小原林道終点→登山口  
(登山口では日帰りの登山装備を持ち出発する)

登山口→小原峠→苅安山→大長山→苅安山→小原峠→赤兎山→小原峠→登山口→入浴し帰る

申込 : 5月31日までに申し込んでください。参加者には装備計画、食料計画を別送します。

中止の判断:6/11の降水確率が60%以上の場合は中止とします。

東山いこいの森キャンプサイト



## 金糞岳(1317m) 白倉岳(1271m)

＜360度の大展望が広がる滋賀県第二の高峰＞

滋賀県第二の高峰の金糞岳は天気良ければ、展望が素晴らしい山です。日本アルプスから御岳、乗鞍岳、白山、奥美濃の山々、琵琶湖から近江の山々と眺望できる。また、「関西百名山」に選定されている。周辺には製鉄遺跡がある。鉱石を溶精する際にできる金屎（かなくそ）が、山名の由来であるとする説がある。



- ◆実施日；2017年6月18日（日）
- ◆集合場所；野洲駅 7：00 竜王セブンイレブン 7：30
- ◆行程；竜王IC→長浜IC→高山キャンプ場（トイレ）→連状口（車駐車）  
登山開始 9：30→小朝頭→大朝頭→金糞岳山頂 11：30 <昼食> →白倉岳  
→金糞岳→連状口 14：30→健康パーク<風呂>→竜王セブンイレブン 17：00  
→野洲駅 17：30  
※行動時間；4.5時間 帰りお風呂に入ります（代金550円）
- ◆持ち物；一般登山用品、雨具、手袋、帽子、  
行動食、非常食、飲み物、お風呂セット

※雨天中止の時は6/17午後6時までに連絡します。



＜小朝頭付近からの金糞岳、白倉岳の眺望＞



## 4 月度例会山行報告 大谷山から赤坂山

- 1 日程 4月16日(日) 9:00 登山口
- 2 参加者 10名
- 3 コース

9:00 マキノ高原登山口→ 10:50 寒風分岐→ 11:15 大谷山(昼食)  
11:50→ 12:20 寒風→ 13:25 栗柄越え→ 13:40 赤坂山→  
14:00→栗柄越え→ 14:50 武奈ノ木平→ 15:45 マキノ高原登山口

会員にはおなじみの高島トレイル、久しぶりに赤坂山へと計画が、それでは物足りず、大谷山まで足を伸ばし、寒風分岐を行ったり来たりちょっと距離を稼ぎました。

整備された尾根歩きですが、尾根までは「えっこらしょ」といつもの「話声」はちょっと少なめか？

登山口のマキノ高原スキー場には桜が満開、そこから登るにしたがってところどころに残雪があり、またカタクリ、マンサク、イワウチワと小さなお花を咲かせていました。

お天気が良く、綺麗に見えた湖面、周りの山々、しかし、逆に暑すぎるほどで、ペットボトル3本が空になりました。



桜の時期の高島市白鬚神社から琵琶湖大橋まで湖西道路の渋滞、予定より早めに下山したのに、まったく渋滞は想定していないなか、遅い時間の帰宅となりました。皆さまお疲れ様でした。

### 一口感想

「歩き応えのある縦走で、いっぱい汗を流し、がぶ飲みしたい飲料も残り少なく、チビ飲みし歩きました。頂上では青空も広がり展望も良く、イカリソウやイワウチワの可愛い花にも会えてラッキーでした！」

登り始めからぐんぐん気温が上がり、最初の寒風辺りで既にバテ気味だった私。まだ遠い大谷山～赤坂山を見上げ、どこまで行けるかな～と不安になりましたが・・・稜線は涼しい風がとても気持ちよく、周囲の山々の美しさと皆さんの楽しいお話に励まされ、テンポ良く楽しい山行になりました。ちらほら咲くイワウチワが可愛くて、ぜひまたお花がたくさん咲く頃に訪れてみたいです。

「山は天候にも恵まれ快適な例会でした。  
しかし、帰りは最大級の交通渋滞に  
遭遇したのも大変印象的な一日でした。

日本人にとっては、冬から解放され春先の  
桜見物がまず心浮き浮きさせ、誰もが外出  
したくなるのでしょうか。我々もその部類、  
文句は言えません。」



朝から霧が出て昼前まで曇っていましたが、徐々に青空が広がってきました。  
道の脇には、紫のカタクリ、ピンクと白のイワウチワ（岩団扇）そしてイカリソウ  
（碓草）バイカオウレン（梅花黄蓮）と可憐に咲いていて、急登の辛さを和らげてくれ  
ました。残雪もありましたが、木々も芽吹き始め春を感じた1日となりました。

カタクリ・イワウチワ・バイカオウレン・・・花の種類・数は少なかったけれどそれぞ  
れかわいらしい色、形で咲いているのを見ることが出来ました。

大谷山～赤坂山の縦走は、すごく見晴らしが良く、遠くに雪山あり標高よりも高い所  
を歩いているようで、楽しむことが出来ました。



## 京都北山 棧敷が岳

日時 2017 年 5 月 7 日 (日)

参加者 計 17 名

コース 棧敷が岳登山口 (雲ヶ畑) 9:30 - 薬師峠 10:05 - 岩茸山山頂 11:05  
- 棧敷が岳頂上 (昼食) 11:45 - ナベクロ峠 13:00 - 祖父谷峠 13:30  
- 下山 14:10

棧敷が岳 (896m) は、王位継承争いに敗れ、北山に隠棲した惟喬親王が山頂付近に棧敷を作り、都を眺めて懐かしんだという伝説から名がつけられてといわれている歴史を感じさせる山です。

コースは樹林帯が多く、所々、ルートがわかりにくい場所がありますが、展望のひらけるところもあり、景色も楽しむことができます。

今回は、雲ヶ畑から登りはじめ、岩茸山、ナベクロ峠、祖父谷峠を通して林道へ下りるというルートだったのですが、林道を歩いて雲ヶ畑まで戻ると、それだけで 1 時間半ほどかかってしまうため、林道の途中まで先に車を回していただいてから登山を開始しました。



惟喬親王

今回、初めて SL をさせていただきましたが、林道へ車をデポする場所を歩き過ぎてしまったり (そのために、出発が遅れてしまいました。)、

何か所かルートを間違えそうになったり、色々とお迷惑をお掛けしました。さらに経験を積んで、安全に楽しく山に親しみたいと思います。



お花



棧敷が岳手前の展望



薬師峠から山頂を目指します。 10:10



岩茸山で小休止 11:05



↑ 甘くて冷たいスイカ！！

← 栈敷が岳山頂 12:00

### 【一口感想】

暖かい陽射しの中、春の里山歩きを楽しむ事が出来ました。  
山頂でのサプライズ、大変美味しかったです。  
CL, SL のお二人、ありがとうございました。

スイカ！！ 美味しかったです!(^^)! まさか山頂で食べれるなんて！ 感謝感謝です。お天気にも恵まれ、新緑の木々がきれいで、とても心地よい山歩きでした♪  
GW 最終日に楽しい一日を過ごせて、また明日からがんばれそうです。みなさん、ありがとうございました☆

「さわやかな若葉に囲まれての山行、京都北山の一面を占める栈敷ヶ岳も起伏のある緑の絨毯の中にある。山頂は穏やかな平坦地、遠くに愛宕山や比叡山も望める。  
その中で CL/SL が準備してくれた冷えた大きなスイカは最高の贈り物、皆でありがたくいただき気分も上々だった。」

清々しい新緑山行ありがとう！  
まさに「山笑う」春の山、美しさを堪能出来ました  
山頂では初物の、あま〜いスイカ美味かったです  
担ぎ上げてくださった方に感謝・感謝  
皆様お世話になりました

【山行日】2017年4月29日（土）～5月2日（火）

【参加者】4名

【コースタイム】

4/29（土）くもり（途中の車中は一時雷雨）

野洲駅13時集合＝多賀SA＝松川IC＝（最後の方で塩川方面に迷い込む）＝越路ゲート18時頃－  
テント設営・食事－就寝20時頃

※ 野洲駅～竜王IC～松川IC＝約230km、松川IC～越路ゲート＝約35km

4/30（日）晴

起床4：00－越路ゲート発5：30～鳥倉登山口6：20（10分休憩）～（途中休憩3回・各15分程度）～三伏峠11：30（35分休憩）～（途中休憩1回・10分）～本谷山14：50（10分休憩）  
～テント場を探す～15：20本谷山から塩見側に数10m降りた所をテント場に決定－テント設営・  
食事～就寝19時頃

5/1（月）くもりのち一時霧、のち雪、夕方からくもり

起床3：00－食事－テント場発4：40～（途中休憩2回・各10分程度）～塩見小屋先の鞍部  
7：30（15分休憩）～塩見岳西峰9：40（5分休憩）～塩見岳東峰9：50（10分休憩）～塩見  
小屋先の鞍部11：05（10分休憩）～（途中休憩1回・10分）～テント場13：50－食事－就寝  
19時頃

5/2（火）晴れ

起床4：00－食事－テント撤収・テント場発6：00～三伏山7：40（休憩15分）～三伏峠  
8：10（休憩20分）～（途中休憩2回・各10分程度）～鳥倉登山口11：50（休憩20分）～  
越路ゲート12：55着＝小渋温泉赤石荘で入浴＝野洲駅着19時頃

【コースの状況など】

- コンビニは伊那大島駅手前が最後のようである。
- 大鹿村役場の先、鳥倉林道以外にも林道があり、迷って時間をロスした。
- この時期は鳥倉登山口手前50分程度の越路ゲートまで車が入れる。夏季も自家用車はここまでだが、バスは鳥倉登山口まで入れる。
- 越路ゲートには30台ほどの駐車場、トイレ、水道があり、ここにテントを張った。少し手前のタ立神パノラマ公園にも駐車場、トイレ、水道があり、駐車場から少し離れた展望台には東屋、展望所もあり、テント場としてはこちらの方が快適の模様。
- 三伏峠への途中から積雪があり、アイゼンを装着し、また、ストックをピッケルに変えた。急斜面の沢を横切るところが何か所もあり、今回はステップがはっきりしていたが、雪の状況によっては通過が怖いかもしれない。帰りは歩きやすさを考えてストックにしたが、雪の状況によっては、ピッケルの方が安全である。
- 三伏峠小屋の冬季小屋、トイレは使える。
- 今年は例年に比べると積雪が多かったようである。
- 三伏山～本谷山～塩見小屋の樹林帯は積雪があり、踏み抜きが多かった。前日まで踏み抜き跡も多くあったが、私たちも何度も踏み抜いた。ワカンを持って行ったが、狭い樹林帯ではかえって歩きにくいようで、アイゼンで歩いた。

- 本谷山の先を数十m下った南側にテントを張った跡があり、風も弱い所であったので、そこにテントを張った。翌日気が付いたが、そこからさらに（数10分）下った所に、広いテント適地があった。
- 頂上アタックの天候は後半悪くなるとの予報であったが、早朝は曇りで頂上も見えていたので、様子を見ながら進むことにした。途中、頂上付近は霧がかかることがあったが、見通しはそれほど悪くなく、風はほとんどなかった。頂上を降りて塩見小屋を通過したところで遠くで雷鳴が何度かあり、そのうち、あられ状の雪が降ってきて、テント場まで続いた。それまでのトレースは翌日は消えていた。
- 権右衛門山は、ほぼ夏道にそって南側斜面をトラバースした。所々目印のテープがあったが、トレースは交錯していた。前日には5パーティ程度が入っていたようである。
- 塩見小屋少し先の鞍部でストックをピッケルに替えた。ハーネスは持参せず、ここで肩にかける簡易ハーネスを装着した。結局ロープを張って確保することはなかった。
- 塩見小屋から先の天狗岩、頂上直下は、ほぼ夏道沿いで、稜線のわずか南側を歩いた。昨日までの先行者のトレースがはっきりしており、雪面と岩場が交互に現れる感じであった。夏道のペンキ印も所々見られた。この時期、通常の年はあまり雪面はないようである。
- 一番緊張したのは急な雪面のトラバースで、場所によれば前爪でカニ歩き、その他、前爪蹴り込んでの長い（10m以上？）急斜面の登下降、半身になってアイゼンを横にしての登下降、アイゼンでの岩場歩きなど、いろんなアイゼン歩行技術を使った。
- アイゼンが利きやすい雪面状態で、また、前日までのトレースがはっきりしていたので助かった。暖かくなると緩んでアイゼンが利かなくなり、寒くなると雪面が凍結して難しくなるが、くもり空でちょうどよい雪面の状態であった。また、危険な所と折り返し点の頂上が近かったが、これが離れていると、登りの時と下りの時の雪面の状況がかなり異なってくるため、登る際の判断が難しくなりそうである。
- 帰りに大鹿村の観光協会でローカル色豊かな案内を受け、小渋温泉赤石荘で入浴した。露天風呂のみの野趣あふれる温泉であったが、身体を洗っているときは寒かった。冬でもこんな状態でしょうか？名前と異なって赤石岳は見えなかったが、中央アルプスの宝剣岳あたりがきれいに見えた。

#### 【装備】

共同装備：テント（フライ、内張付）、コッフェル（大（2.6L）、小（1.8L）の2個セット）、ガス中（225g）4個、ガスヘッド2個、GPS、ロープ（8mm×30m）、スコップ1、スノーバー1、ツエルト2、ラジオ1、無線機1、救急セット

個人装備：ストック、ピッケル、アイゼン、ワカン、ヘルメット、スリング120cm2本、ブルージック用スリング、環付カラビナ2、カラビナ1

その他、通常の冬山装備

#### 【ガス使用量】

水はすべて雪を融かし煮沸したため、中カートリッジ（225g）を3個半消費した。なお、古い雪のためにゴミ等も多く、ストックング等でろ過した。

#### 【共同食料】

- 30日夕食：ちらし寿司（アルファ米とチラシ寿司の元）、マカロニサラダ、インスタントすまし汁（930g）
- 1日朝食：卵雑炊（アルファ米、卵ふりかけなど）（300g）
- 1日夕食：麻婆春雨、アルファ米、ポテトサラダ、インスタント中華スープ（950g）
- 2日朝食：袋カレーうどん+薄切り餅（480g）

共同食の総重量は2660g、1人あたりは約700g

【費用】

交通費：ガソリン代=280km×往復×@30=16,800円

高速代=行き 3,570+帰り 5,500=8,970円

共同食糧費：4,030円

ガスカートリッジ：中カートリッジ冬用 4個×@550=2,200円

合計=32,000円/4人=8,000円/人

【蛇足ですが】

- 大鹿村は花桃など、色とりどりの花が咲き乱れ、美しい村でした。
- この付近、鹿塩、塩川、塩見とか、海がないにもかかわらず「塩」のつく地名があるのを不思議に思っていたのですが、観光協会でもらったパンフレットで謎が解けました。この村では塩水が湧き出て（理由は不明とのこと）、日本で唯一の山の塩をつくっています。さらに蛇足ですが、言い伝えでは、鹿が好んでなめる水を調べたところ、塩分を含んでいたということです。なお、塩見岳は海が見えることからその名になったという説もあります。



本谷山から見た塩見岳。左のピークが天狗岩、その奥が塩見岳西峰。ほぼ夏道沿いに、稜線のすぐ下（天狗岩の右側、その先は手前側）を、雪の付いたルンゼと岩場を歩く。



塩見小屋先の鞍部から見た塩見岳西峰（左）と天狗岩（右）。右側の広い斜面から天狗岩の右側をトラバースする。



天狗岩のトラバース。急斜面の雪面と岩場を交互に歩く。



最終日、三伏山に向かう。奥に見えるのは赤石岳（左）、聖岳（右）

2017年4月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		プロ グ 掲載
			会 員	会 員 外	
4/1	霊仙山西南稜		1	数名	
4/2	近江八幡 沖島・ケンケン山・伊崎山・棹飛堂	例会	17	1	○
4/5	筑波山		3	1	○
4/5	六甲山 摩耶山		2		○
4/6	京都市内桜名所歩き		4	3	○
4/9	大文字山・小関越		5		○
4/13	百里ヶ岳 931m		4		○
4/13	ポンポン山～小塩山		3		○
4/15 ~ 4/16	八ヶ岳 赤岳 (雪山基礎講座)		6	7	○
4/15	比良山系 御殿山～小川新道～牛コバ	例会下見	2	1	
4/16	大谷山から赤坂山	例会	11		○
4/16	比良山系 リトル比良		1	1	
4/19	弥高山 834m		10		○
4/19	比良山系 武奈ヶ岳		2		
4/19	京都北山 棧敷ヶ岳	例会下見	1		
4/21	鈴鹿・銚子ヶ口		1	1	
4/22	入道ヶ岳 905m		5		○
4/22	比良山系 釈迦岳～堂満岳		1		
4/22	希望ヶ丘文化公園内笹尾が岳(251m)		1	1	○
4/23	金糞岳		3		
4/23	鈴鹿山系 綿向山		6	2	
4/24	藤原岳		1	1	
4/25	愛宕山		1		
4/28	滋賀・福井県境/駒ヶ岳 780m		4		○
4/28	比良山系 烏谷山～蓬莱山		1		
4/29 ~ 5/2	南アルプス 塩見岳		4		○
4/29	六甲山		1		
4/29	赤坂山(滋賀県)		1	観察会	
4/29	荒島岳		5		
4/30	横山岳 1132m		13	1	○

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、  
実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。